

交通事故発生状況（令和7年6月末）

交通事故の特徴

1 発生件数、負傷者数が減少

令和7年6月末の京都府内の交通事故発生状況は、発生件数1,786件（前年同期比－155件、－8.0%）、死者数25人（同比＋3人、＋13.6%）、負傷者数1,997人（同比－213人、－9.6%）です。

2 全交通死亡事故のうち高齢者が死亡する交通事故が6割を超える

交通死亡事故25件のうち、16件の事故（64.0%）で高齢者が亡くなっています。

亡くなられた高齢者は、自動車乗車中が4件、自二車乗車中が2件、自転車乗用中が4件、歩行中等が6件となっています。

京都府内の発生状況

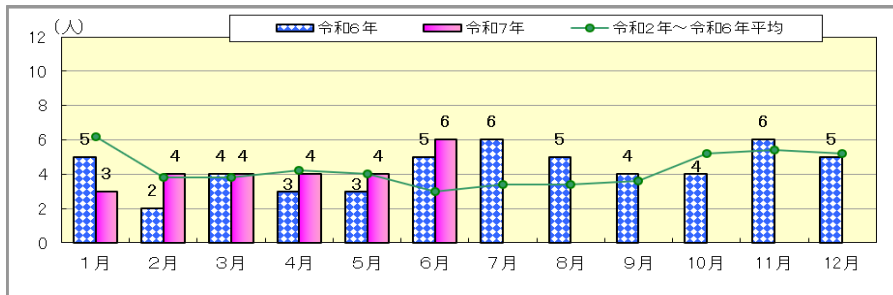
各年6月中

区分／年別	令和5年	令和6年	令和7年	前年同期比	
発生件数	332	322	280	-42	-13.0%
死者数	3	5	6	1	20.0%
負傷者数	367	346	317	-29	-8.4%

各年6月末

区分／年別	令和5年	令和6年	令和7年	前年同期比	
発生件数	2,013	1,941	1,786	-155	-8.0%
死者数	29	22	25	3	13.6%
負傷者数	2,292	2,210	1,997	-213	-9.6%

月別死者数



全国・近畿管区内の状況

全国の状況

令和7年6月末の全国の交通事故死者数は1,161人（前年同期比－21人、－1.8%）です。

東京都が68人で最も多く、次いで神奈川県63人、大阪府58人、千葉県57人、埼玉県56人の順となっており、京都府の25人は多い方から16番目です。

区分／年別	令和6年	令和7年	前年同期比
死者数	1,182	1,161	-21 (-1.8 %)

順位	都道府県別	死者数	前年同期比
第1位	東京	68	-1 (-1.4 %)
第2位	神奈川	63	12 (23.5 %)
第3位	大阪	58	4 (7.4 %)
第4位	千葉	57	-15 (-20.8 %)
第5位	埼玉	56	12 (27.3 %)
第16位	京都	25	3 (13.6 %)

近畿管内の状況

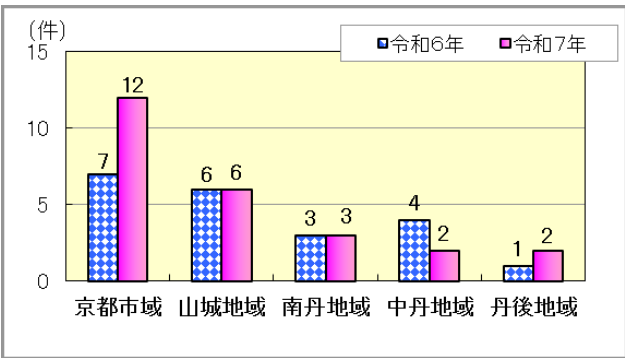
令和7年6月末の近畿管内の交通事故死者数は、178人（+17人）です。

都道府県	死者数	前年同期比
近畿管区	178	17（10.6%）
府県別	滋賀	25
	京都	25
	大阪	58
	兵庫	42
	奈良	12
	和歌山	16

京都府内の死亡事故の特徴

発生地域別死亡事故件数

令和7年6月末、京都市域が12件、山城地域が6件、南丹地域が3件、中丹地域が2件、丹後地域が2件となっています。



発生地域の内訳（令和7年6月末）

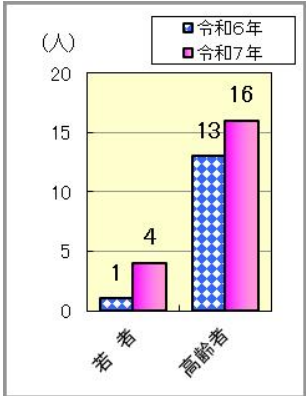
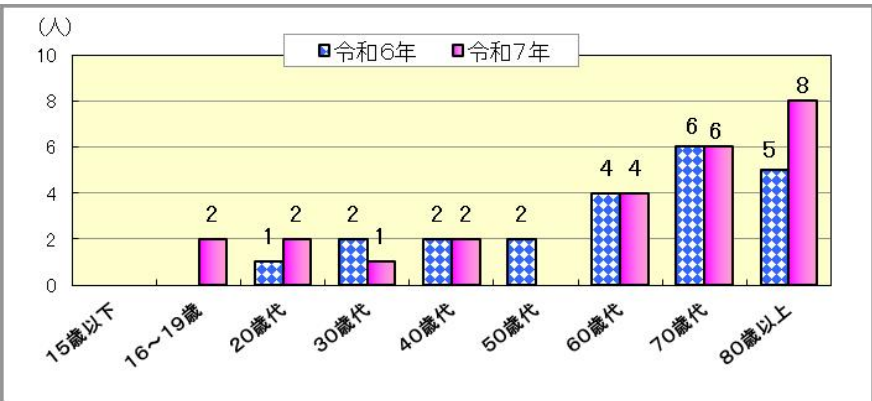
区分	市区町村
京都市域	北区(3)、下京区(2)、南区(1)、山科区(2)、西京区(1)、伏見区(3)
山城地域	長岡京市(3)、宇治市(1)、久御山町(1)、京田辺市(1)
南丹地域	亀岡市(1)、南丹市(2)
中丹地域	綾部市(1)、舞鶴市(1)
丹後地域	京丹後市(2)

年齢層別死者数

高齢者の死者数は16人（前年同期比+3人）で、若者が4人（同比+3人）です。

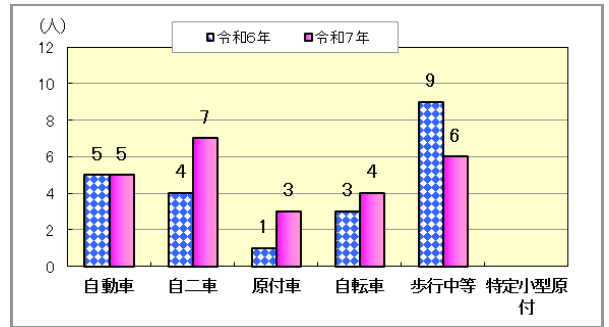
（注）「若者」とは、16歳から24歳の方をいいます。

「高齢者」とは65歳以上の方をいいます。



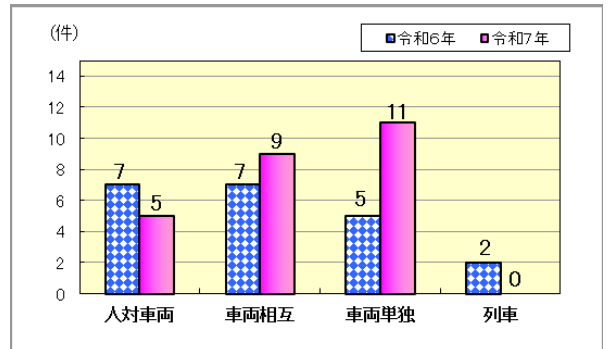
状態別死者数

自動二輪車乗車中が7人、歩行中等が6人、自動車乗車中が5人、自転車乗用中が4人、原付車乗車中が3人となっています。

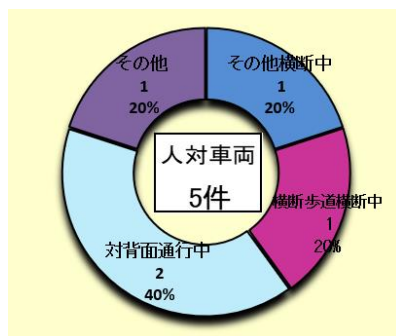


事故類型別死亡事故発生件数

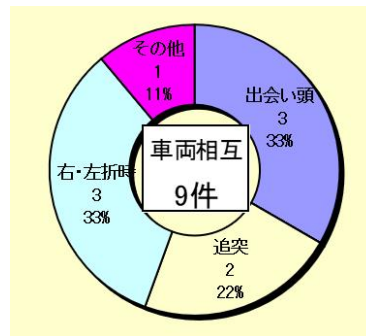
車両単独が11件、車両相互が9件、人対車両が5件となっています。



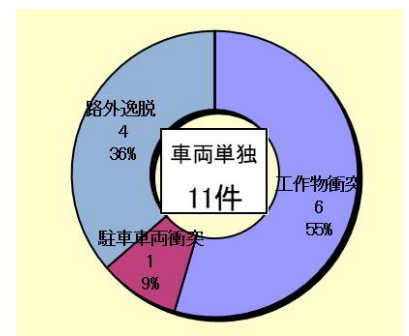
【人対車両事故の内訳】



【車両相互事故の内訳】

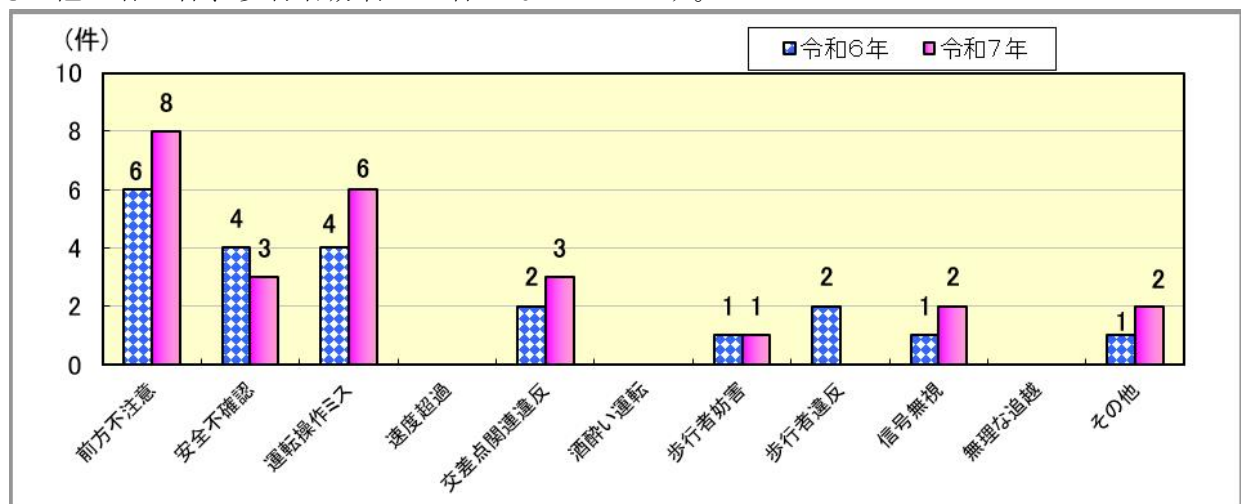


【車両単独事故の内訳】



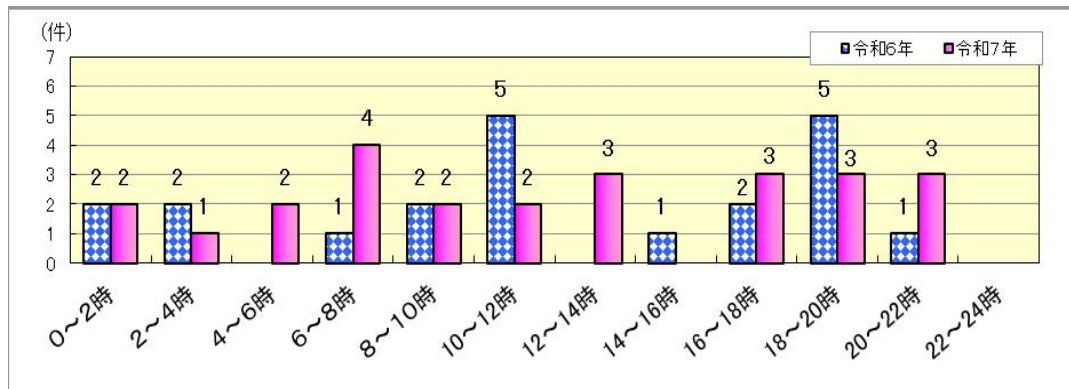
主な事故原因別（第1当事者）死亡事故発生件数

前方不注意が8件、運転操作ミスが6件、安全不確認、交差点関連違反が各3件、信号無視、その他が各2件、歩行者妨害が1件となっています。



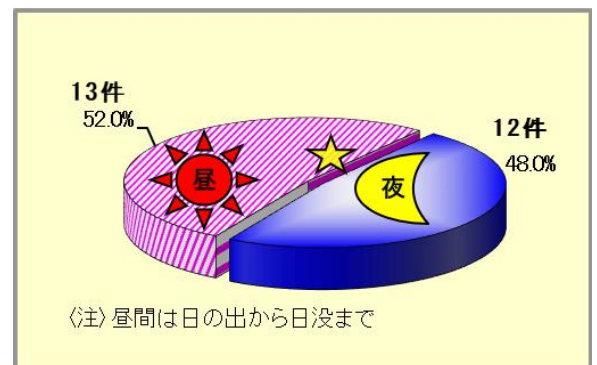
発生時間帯別死亡事故発生件数

6～8時が4件、12～14時、16～18時、18～20時、20～22時が各3件、0～2時、4～6時、8～10時、10～12時、が各2件、2～4時に1件発生しています。



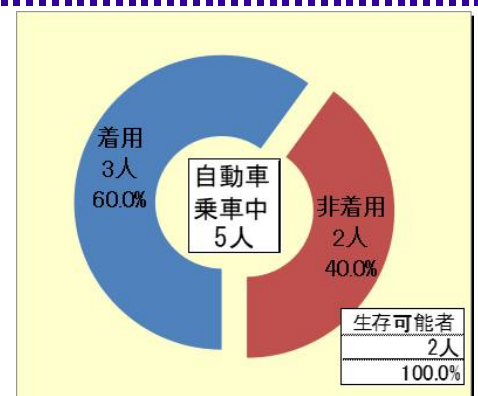
昼・夜間別死亡事故発生件数

死亡事故の昼・夜間別発生状況は、昼間13件（前年同期比＋2件）、夜間12件（同比＋2件）です。



シートベルト着用状況

自動車乗車中の死者は5人であり、うち2人がシートベルト非着用でした。



飲酒事故の状況

飲酒運転（第1当事者が原付以上の車両を運転し、酒酔い運転又は酒気帯び運転）による死亡事故は、2件発生しています。

